

高等学校教育の改革に関する推進状況について 平成 22 年 11 月 5 日

このたび、文部科学省において、高等学校教育の改革に関する推進状況について調査しましたので、その結果について公表します。

1. 調査内容

各都道府県等における高等学校教育の改革に関する推進状況について調査を行い、その結果を取りまとめたものです。

2. 調査結果の概要

(1) 中高一貫教育校の設置・検討状況

平成 21 年度の 370 校と比較して 32 校増加し、平成 22 年 4 月現在 402 校となっています。内訳は、中等教育学校 48 校、併設型 273 校、連携型 81 校です。なお、平成 23 年度以降に設置が予定されている中高一貫教育校は 31 校です。

(2) 総合学科の設置状況

平成 21 年度の 344 校と比較して 5 校増加し、平成 22 年 4 月現在 349 校となっています。

(3) 単位制高等学校の設置状況

平成 21 年度の 900 校と比較して 28 校増加し、平成 22 年 4 月現在 928 校となっています。

(4) 高等学校と大学の連携

1 大学等との連携協議会等の設置状況

平成 18 年度の 590 校と比較して 365 校増加し、平成 22 年 4 月現在 955 校となっています。

2 大学の科目履修生・聴講生等又は公開講座等の制度の活用状況

平成 18 年度の 991 校と比較して 121 校減少し、平成 21 年度の活用校は 870 校となっています。

3 大学教員による高等学校での学校紹介や講義等を実施している学校数

平成 18 年度の 2,471 校と比較して、338 校増加し、平成 21 年度の実施校は 2,809 校となっています。

(5) 生徒の自校以外における学修の単位認定について

1 学校間連携における単位認定制度の活用状況

平成 18 年度の 185 校と比較して、5 校増加し、平成 21 年度の活用校は 190 校となっています。

2 大学等における学修の単位認定制度の活用状況

平成 18 年度の 428 校と比較して、50 校増加し、平成 21 年度の活用校は 478 校となっています。

3 ボランティア活動等に係る学修の単位認定制度の活用状況

平成 18 年度の 504 校と比較して、増減なく、平成 21 年度の活用校は 504 校となっています。

4 技能審査の成果に係る単位認定制度の活用状況

平成 18 年度の 1,539 校と比較して、159 校減少し、平成 21 年度の活用校は、1,380 校となっています。

5 高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定制度の活用状況

平成 18 年度の 291 校と比較して、16 校増加し、平成 21 年度の活用校は 307 校となっています。

6 海外留学に係る単位認定の活用状況

平成 18 年度の 1,117 校と比較して、325 校減少し、平成 21 年度の活用校は、792 校となっています。

(6) 高等学校再編計画等の策定及び検討状況

すべての都道府県において、高等学校再編整備計画を策定済み又は策定予定としており、46 都道府県が現在再編計画を実施中又は既に実施済みとなっています。

(7) 各都道府県・政令都市において重点的に取り組んでいる課題（上位 5 つまで選択）

「基礎的・基本的な学力の定着」、「キャリア教育」について、40 を超える多くの都道府県において重点的に取り組んでいることが伺えます。

初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室